2027 年 4 月採用
東京大学「宇宙地球フロンティア国際卓越大学院プログラム（IGPEES）」
コース生募集要項 [2027.4 博士入学生用]

本プログラムの教育研究上の目的

本プログラムは、アストロバイオロジーをさらに発展させた、宇宙の始まりから生命の起源までをシームレスに扱う学際教育プログラムを提供する、国際的な修博一貫プログラムである。専門分野で確固たる基礎を身につけた国内外のトップレベルの学生が、本プログラムを通じて以下の力を身につけ、国際的な場で活躍する博士人材を育成することを目的とする。

(1) 宇宙・地球科学に関連する専門分野における卓越した研究力
(2) 異分野融合型の研究テーマを自ら発掘・実行し、学際研究や新分野を開拓できる実行力
(3) 社会と対話し、世界で活躍できるコミュニケーション能力と国際性

また、上記の人材育成を推進するため、外国人留学生や社会人経験者等の様々な教育的背景を持つ学生を受け入れる。

※プログラムの詳細は以下 IGPEES のウェブサイトを参照のこと。
https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/IGPEES/

１．申請資格

本コースの履修申請をすることのできる大学院学生は、本学大学院の理学系研究科各専攻及び工学系研究科「航空宇宙工学専攻」、新領域創成科学研究科「先端エネルギー工学専攻」、「複雑理工学専攻」のいずれかの**博士後期課程に、2027 年 4 月に入学予定の者**で、かつ、次の要件を全て満たす者とする。（注1・2）

・広い意味での宇宙・地球科学研究の分野で博士の学位を取得しようとする者
・本プログラムの趣旨、履修要件等のルールを十分に理解し、本プログラムに関わる活動等に協力する者
・日本学術振興会（JSPS）特別研究員に応募し、採択された場合にも本プログラムに引き続き在籍することを確約する者（国費留学生は本要件から除外される）
・海外における経験を得ることに意欲的であり、外部資金による海外派遣プログラム等に積極的に応募する意思のある者
・博士の学位記に本プログラムを修了したことが付記されることを了解している者

（注1） **上記いずれかの専攻において 2027 年 3 月 31 日までに修士の学位を得る見込の者の申請は認めない。**ただし、上記いずれかの専攻において修士の学位取得後、民間企業や研究機関等での就業を経た上で、上記いずれかの専攻の博士後期課程に 2027 年 4 月に入学予定の者は申請可能。

（注2） 変革を駆動する先端物理・数学プログラムを除き、他の国際卓越大学院への併願は認めない。

２．選抜方法

コース生の選抜は、申請書類（申請書、研究計画書、教員の意見書）、大学院入試成績及び Qualifying Examination(QE)（研究計画書に基づく口頭試問（英語））の結果を総合的に判断して行う。QE は、**2027 年 2 月 19 日（金）**を予定している。QE 実施日を含む詳細については **2027 年 2 月 5 日（金）**を目処に申請書に記載された E-mail アドレスあてに連絡する。連絡がない場合は、理学系研究科学務課内国際卓越大学院事務局（wings.s@gs.mail.u-tokyo.ac.jp）へ問い合わせること。

３．募集人員

研究科	専攻	募集人員
理学系	物理学	若干名
〃	天文学	
〃	地球惑星科学	
〃	化学	
〃	生物科学	
工学系	航空宇宙工学	
新領域創成科学	先端エネルギー工学	
〃	複雑理工学	

４．コース生の選抜結果発表及び採用手続き

（1） コース生の選抜結果の発表は、**2027 年 3 月 8 日(月) 13:00** 頃に申請者全員に対し、「Applicant ID」にて選抜の結果を申請書に記載された E-mail アドレスあてに電子メールにて送信する。Applicant ID は申請書類を受理した際に通知する。

（2） 採用手続書類は、発表と同時に採用者に対して電子メールにて送信する。採用内定者は、**2027 年 3 月 15 日（月）**までに必要な採用手続（採用手続書類の提出）を行うこと。

５．コース生申請手続

（1） 申請書類

ア. 申請書

(2)の申請用ウェブページ上で直接入力すること。

イ. 研究計画書

(3)の申請書類ダウンロード先にある所定の様式に所要事項を記入し、電子ファイル（ワードを変換した

PDF)を(2)の申請用ウェブページにある所定箇所からアップロードすること。

ウ. 教員の意見書

(2)の申請用ウェブページに指導教員(注1)の氏名と所属・身分、メールアドレスを記入すること。申請が完了すると、ア. の申請書に入力された指導教員のメールアドレスあてに意見書の入力を依頼するメールがシステムから自動的に送信され、指導教員が直接ウェブ入力することになる(注2・3)。

(注1) 原則として、博士課程入学後の指導教員とする。

(注2) 申請者のウェブ申請が完了しない限り、指導教員へ意見書の入力依頼が送付されないので注意すること。

(注3) 教員の意見書を受付期間内に受理しなかった場合は、申請自体を受理しないため、必ず指導教員にオンラインで提出が完了したかを確認すること。なお、指導教員が意見書を提出すると申請者にもその旨を通知するメールが送付される。

(2) 申請用ウェブページ

https://apps.adm.s.u-tokyo.ac.jp/WINGS/

(3) 申請書類ダウンロード先

https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/IGPEES/application.html

(4) 受付期間

申請書及び研究計画書: 2026 年 12 月 15 日(火)から 2027 年 1 月 6 日(水)15:00 まで〔必着〕(注 1)

教員の意見書: 2026 年 12 月 15 日(火)から 2027 年 1 月 8 日(金)15:00 まで〔必着〕

(注1) 受付期間終了直前は、サーバーが混み合う可能性があるため、余裕を持って申請すること。

6. 採用期間

コース生の採用期間は、**2027 年 4 月から 2030 年 3 月まで**とする。

2029 年夏頃にコース修了後に行う研究プロポーザルの提出及びその内容の研究力・学際性・国際性・問題発見力・解決力に関する口頭試問を含めた最終試験(Final Examination(FE))を受けて、試験に合格した場合はコース認定が行われる。その後に課程博士の学位を取得した場合に本コースが修了する。早期修了の場合にも、学位を取得した時点でコース認定が終了していれば、博士の学位取得とともに本コースが修了する。

7. 経済的支援

コース生のうち希望者は、2027 年 4 月 1 日から卓越リサーチ・アシスタント(卓越 RA)として委嘱し、宇宙・地球における研究業務を行い、月額 18 万円(注 1・2・3)を支給する。**卓越 RA として委嘱されることを希望する者は、5. (2)の申請用ウェブページの該当欄に採用年度(2027 年度)における研究業務の内容を記入すること。**

ただし、JSPS 特別研究員に採択された学生、国費留学生や本学独自の奨学金を受けている学生は、卓越 RA として報酬を受けることはできないが、本コースに応募することができる。

(注1) 卓越 RA として委嘱された場合、RA 制度を利用することはできないが、ティーチング・アシスタント(TA)制度を利用することは可能である。

（注2） 卓越 RA 業務による報酬は、税法上、給与所得として課税されるので、毎月所得税を源泉徴収の上、支給することとなる。そのため、年末調整や確定申告を行う必要がある。

（注3） 1 月から 12 月までの年収が一定の金額を超える場合、所得税法上の扶養控除を受けられないことや、親や配偶者等の健康保険の被扶養者から外れることがあるので、注意すること。なお、当該年収に応じては、次年度に住民税が課税される場合もある。

８．注意事項

（1） 受付期間内に必要書類が完備しない申請は、受理しない。

（2） 申請手続完了後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めない。

（3） 事情により、申請手続等について変更することがある。変更があった場合は、改めて通知する。

（4） 申請に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①履修者選抜（申請処理、選抜実施）、②採用者発表、③採用手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、採用者のみ①教務関係（学籍、修学等）、②学生支援関係（就職支援、授業料免除申請等）に関する業務を行うために利用する。

（5） 申請書における記載内容について虚偽の記載をした者は、採用後においても遡ってコース生であることを取り消すことがある。

９．問い合わせ先

東京都文京区本郷 7 丁目 3 番 1 号　理学部 1 号館東棟 2 階 275
東京大学大学院理学系研究科学務課内国際卓越大学院事務局
電話：03－5841－4626
Email：wings.s@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
※事務局閉室期間：2026 年 12 月 29 日（火）から 2027 年 1 月 3 日（日）

2026 年 10 月